

5. 東海（地域別調査機関：（株）U F J 総合研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由		
家計 動向 関連	良くなる やや良くなる	商店街（代表者）	・客の雰囲気は良くなってきている。		
		一般小売店〔土産〕 （経営者）	・財布のひもが緩む傾向が続いている。		
		百貨店（企画担当）	・春夏のファッションには昨年までのトレンドと大きく変化がみられるため、買い換え需要が期待できる。これが百貨店全体への売上増加に寄与する。		
		百貨店（外商担当）	・来客数、客単価とも上向いている。		
		スーパー（総務担当）	・3か月連続して客単価が上昇している。		
		コンビニ（商品開発担当）	・月を追うごとに売上が伸びている。		
		乗用車販売店（従業員）	・売上を確保できる見込みがある。客の話でも、今年に入ってから忙しいという客が増加している。		
		乗用車販売店（従業員）	・消費税駆け込み前に購入した客の買い換え需要が多く、今後も期待がもてる。客からも暗い話は減っている。		
		一般レストラン（スタッフ）	・売上、来客数とも良くなってきており明るい兆しがみられる。		
		スナック（経営者）	・客単価が低下しているため売上は伸びていないが、来客数は若干増加しており、良い傾向である。		
		観光型ホテル（スタッフ）	・春の企画商品の売行きが好調な滑り出しである。		
		都市型ホテル（支配人）	・今後愛知万博関連の需要が見込まれる。		
		都市型ホテル（従業員）	・予約状況が比較的好調である。		
		都市型ホテル（スタッフ）	・宿泊部門は不透明だが、飲食部門の予約は好調である。		
		パチンコ店（経営者）	・景気の回復感が周囲でみられ、サービス業には追い風である。		
		その他サービス〔語学学校〕（経営者）	・年初より、問い合わせ数、入校者数とも順調に増加している。		
		その他サービス〔珠算塾〕（経営者）	・新入学の時期で増加を見込んでいる。		
		変わらない		商店街（代表者）	・自家消費の購入が伸びていないため、販売量も今一つである。
				百貨店（企画担当）	・景気回復のバロメーターと位置づけられる紳士服の売上に明るさがみえないため、景気回復はまだ先である。
				百貨店（経理担当）	・外商が伸びてくれば上向きと判断できるが、まだそこまでの状況ではない。
百貨店（販売促進担当）	・売上は天候による影響を大きく受けており、初冬が暖かく季節商品の売上が減少した反動で現在クリアランスの調子はよい。しかし、全体的にみると前年と同様の推移となっており、楽観視はできない。				
スーパー（経営者）	・特売日には通常の倍の来客があるが、それ以外は必要な物以外は購入せず、安い商品ばかりが売れている。				
スーパー（店長）	・食の安全に対するイメージダウンが続いており、良くなる見通しは立たない。				
スーパー（店員）	・競合店も同じような厳しい状態で、今後も良くなるとは思えない。営業時間を延長する計画があるが、そういうことで売上を伸ばすしか方法がない。				
コンビニ（エリア担当）	・競合の出店が加速し影響を受けるが、新装予定の店舗があり大きく影響は受けない。				
コンビニ（エリア担当）	・競合激化による売上の前年割れ状況は今後も続く。				
コンビニ（エリア担当）	・客単価の回復傾向はみられるが、競合が厳しくなるため来客数の増加は難しい。				
コンビニ（エリア担当）	・我慢も現在が底という感はある。衝動買いを誘う商品も徐々に出てきている。				
コンビニ（売場担当）	・しばらくは底ばい状態が継続する。				
衣料品専門店（企画担当）	・必要最低限の購買意欲はあるが、消費を引き上げるトレンドはまだ見つからない。				
自動車備品販売店（経営者）	・低額商品の売上は好調であるが、高額商品は売れていない。比較的安定していた部門も厳しさを増している。				

		住関連専門店（営業担当）	・住宅ローン減税が延長になり、春頃から動きが出てくると予測している。
		高級レストラン（スタッフ）	・常連の客を固めるとともに、推奨による客単価上昇で売上を確保している。しかし、一般客は相変わらず減少が続いている。
		スナック（経営者）	・企業関係の客が減少しているため個人の客で売上を確保しているが、週末でも客足は鈍い。
		旅行代理店（経営者）	・愛知万博関連は良い材料だが、鳥インフルエンザやBSEなどの問題が懸念される。
		旅行代理店（経営者）	・個人旅行は増加するが、鳥インフルエンザなどの懸念材料もある。
		旅行代理店（従業員）	・SARSの再発懸念や鳥インフルエンザの問題など、海外旅行の先行きは依然不透明である。
		旅行代理店（従業員）	・国内旅行は順調に推移するが、海外旅行は鳥インフルエンザやSARS拡大の影響懸念がある。
		旅行代理店（従業員）	・イラク問題やSARSなどで悪い事態が発生すれば非常に厳しい状況になる。
		テーマパーク（総務担当）	・良い状態がこのまま継続する。
		ゴルフ場（経営者）	・予約件数は昨年、一昨年に比べて10%以上減少している。また、例年ならクラブの買い換えがある時期だが、今年は客の購買意欲が感じられない。ゴルフが好きな客でも、年間のゴルフ回数は減少している。
		ゴルフ場（企画担当）	・来客数が徐々に増加する季節だが、景気が良くなるほどの来客数は見込めない。
		美容室（経営者）	・イメージチェンジをするために来店する客は少ない状況で、しばらくこのままの状態を推移していく。
		その他サービス〔パチンコ機器製造販売〕（エリア担当）	・来客数は減少しているが客単価が上昇しているため、売上は前年と変わっていない。しばらく横ばいが続く。
		設計事務所（経営者）	・仕事量は徐々に増加しているが、単価は一向に上昇してこない。
	やや悪くなる	一般小売店〔酒〕（経営者）	・食品小売業界では鳥インフルエンザ、BSEなどの不安要素が発生し、消費にとっては大きなマイナス要因である。
		スーパー（仕入担当）	・競合店の出店が予定されており、来客数が10%以上減少する厳しい状態となる。しかし、品質の良い輸入食品、健康食品は継続的に売れていく。
		その他専門店〔雑貨〕（店員）	・年末商戦には大きな変化がなく、来客数が前年割れの状況は変わらない。
		一般レストラン（経営者）	・土曜日の来客数の減少が著しい。原因が分からないため回復は当分見込めない。
		都市型ホテル（スタッフ）	・予約状況があまり良くない。
		理美容室（経営者）	・客の来店サイクルが徐々に伸びている。
		設計事務所（経営者）	・長期的な視点での商談がない。
		住宅販売会社（経営者）	・客は住宅購入を見合わせており、また当方も値引き販売するため利益が少ない。
	悪くなる	コンビニ（店長）	・小サイズの商品や低価格商品がよく売れていることから、消費はまだ抑えられている。
		家電量販店（店員）	・BSEの影響による牛肉の輸入規制やイラク問題などが影響してくる。
		一般レストラン（スタッフ）	・BSEや鳥インフルエンザなど食の安全に関わる問題が相次いで発生し懸念される。
		住宅販売会社（業務担当）	・住宅着工の駆け込み需要が終わり、製品販売量、契約件数いずれも前年実績を下回っている。
企業動向関連	良くなる		
	やや良くなる	化学工業（総務担当）	・IT関連商品の引き合いが増加している。
		化学工業（人事担当）	・企業の体質改善に取り組んできた成果が出てきている。
		電気機械器具製造業（営業担当）	・デジタル化の波に乗って新たな市場が創造され、業界の景気も活発になる。
		輸送用機械器具製造業（総務担当）	・受注量が増加傾向にある。
		輸送用機械器具製造業（経理担当）	・国内の設備投資は持ち直しの傾向にある。
		輸送業（エリア担当）	・自動車部品や液晶関連が好調である。
	新聞販売店〔広告〕（店主）	・流通、サービス、不動産などチラシ全体が伸びている。	

	会計事務所（職員）	・合理化、省力化、迅速化に対応している企業では、利益は上向きに推移する。	
変わらない	電気機械器具製造業（従業員）	・受注が急激に増加することはないが減少することもなく、安定感が出てきている。	
	輸送用機械器具製造業（工務担当）	・受注状況が高水準で安定している。	
やや悪くなる	食料品製造業（企画担当）	・年始は販売量に回復の兆しが見えたが、BSEと鳥インフルエンザの問題で消費者の購買心理に少なからぬ影響が出てくる。	
	印刷業（営業担当）	・取引先が発注予算を縮小する計画が浮上しており、現在より増加することはない。	
	金属製品製造業（従業員）	・低価格で受注した結果が表れてくる時期となり、収益面での圧迫が現実化する。	
	一般機械器具製造業（販売担当）	・米国市場が注文のほぼ100%を占めるが、1ドル110円以上の円高がこれ以上続くと、製品価格への転嫁もできなくなり、利益を削るしかない。	
	電気機械器具製造業（経営者）	・顧客企業から強力な値下げ要求があり、不安がある。	
	電気機械器具製造業（従業員）	・国内縫製業が縮小傾向にある。	
	輸送用機械器具製造業（統括）	・新年度以降の単価低減要求が既に内示されており、採算確保が非常に難しくなっている。販売量増加も見込めていない。	
	建設業（経営者）	・住宅戸数が増加したといっても単価の低いマンションが中心で、工場や事務所、倉庫の増築はほとんどない。受注件数が増加しても単価は低下し続け、厳しさを増す。	
	経営コンサルタント	・勝ち組企業の工場周辺では住宅開発も盛んであるが、負け組企業の方が数が多く、全体としては良くなっていない。	
	悪くなる	非鉄金属製品製造業〔鋳物〕（経営企画担当）	・引き合い件数が減少しており、季節要因を考慮に入れても今後一層の減少傾向となる。
雇用関連	良くなる	求人情報誌製作会社（編集者）	・求人数は相変わらず激増しており、今後愛知万博、中部国際空港関連の影響で雇用環境は更に良くなる。
		職業安定所（所長）	・卸売業界、小売業界ともにそれぞれ100名程の求人増加が見られ、好調である。
	やや良くなる	人材派遣会社（社員）	・派遣スタッフを募集しても計画通りに人が集まらない。正社員よりも派遣採用という傾向は強く、需要はますます上向きになっていく。
		求人情報誌製作会社（編集者）	・現在のところ求人数は停滞している感があるが、企業の人事担当者によると様子見している企業も多く、採用意欲はあるため、数か月後には徐々に回復していく。
		求人情報誌製作会社（企画担当）	・正社員の求人にはほとんど変化が見られないが、アルバイト、パート求人の増加はめざましく、雇用市場全体を活気づけている。
		職業安定所（職員）	・輸送用機械器具製造業の求人が減少しているという不安要素はあるものの、一般機械器具製造業の求人が増加しており、製造業全体としては増加傾向にある。また、求人窓口も盛況である。
		民間職業紹介機関（職員）	・企業からの求人数は増加している。求人誌の売上も増加しており、活発に動き始めている。
		学校〔大学〕（就職担当）	・企業からの学生求人は43万4千人と、前年と比較して3千人増加している。一般の求人と合わせると1.35倍となっており、今後も求人は横ばいもしくは微増していく。
		学校〔専門学校〕（就職担当）	・昨年の今ごろは第二新卒者などが多く、大学などからの追加求人依頼が多く届いていたが、今年は2005年新卒を対象とした求人票が圧倒的で、2004年卒業者の動きが落ち着いたと予想される。複数の内定を得て採用辞退をする今年度卒業予定者や中途採用予定者もあり、雇用は上向きである。
	変わらない	アウトソーシング企業（エリア担当）	・求人は非常に多く、労働者不足が解消する気配はない。しかし採用がスムーズにいかない限り、景気は好転していかない。
		新聞社〔求人広告〕（営業担当）	・現在比較的好調な輸出関連の製造業も、円高の影響で雇用は派遣や業務請負中心となっている。正社員雇用については極めて慎重で、求職者にとっては狭き門となっている。この雇用状態が続いている限りは、景気の先行きについて慎重な見方をせざるを得ない。

	職業安定所（職員）	・企業は求める能力と合致し即戦力となる人材をこれまで以上に要望しているため、求職者とのミスマッチが更に拡大する懸念がある。またフリーターもまだまだ増加する状況にあり、予断を許さない。
	職業安定所（管理部門担当）	・求人数は増加しているがミスマッチが多く、就職率は7.3%と依然として低い。
	民間職業紹介機関（経営者）	・大手自動車関連メーカーの好業績に支えられ、今後も技術系求人への積極的な採用活動が継続する。
やや悪くなる	職業安定所（職員）	・踏ん張っていた中小零細事業所が、今後資金繰りなどの問題から倒産、リストラに追い込まれることが懸念される。
悪くなる	-	-